

カナダの落葉果実事情(リンゴ)

米国農務省GAINレポート 2025年12月2日

これは米国農務省海外農業局オタワ事務所(カナダ)が作成した「落葉果実年次報告書」のリンゴの項の一部を翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

<リンゴ>

表1 カナダの生鮮リンゴの生産需給統計

注:「当事務所今回推計」は当事務所の推計であり、米国農務省の公式データではない。

リンゴ 生鮮 カナダ	2023/2024		2024/2025		2025/2026*	
	販売年度は7月～翌年6月					
	米国農務省 公式	当事務所 今回推計	米国農務省 公式	当事務所 今回推計	米国農務省 公式	当事務所 今回推計
生産量	363,592	355,639	382,000	377,432	0	377,390
輸入量	163,900	163,871	160,000	168,732	0	175,000
総供給量	527,492	519,510	542,000	546,164	0	552,390
国内消費量	470,192	462,084	480,000	493,257	0	498,390
輸出量	57,300	57,426	62,000	52,907	0	54,000
総仕向量	527,492	519,510	542,000	546,164	0	552,390

単位: トン *は当事務所の予測値

生産

当事務所は、カナダの2025/26年度のリンゴ生産が概ね安定するものと予測する。当初の予測では生産量が3%増加する可能性が示されていたが、干ばつと高温が、オンタリオ、ケベック、ニューブランズウィック及びノバスコシアの各州の最終的な生産量に悪影響を及ぼしたもの見られる。地域的な雹害もブリティッシュコロンビア(BC)州の一部の果樹園に影響を与えており、高温の影響も加わって生産量は当初の予測を下回る見込みである。BC州のアンブロシア品種は生産量が影響を受け、品質面での懸念もあるとされている。

オンタリオ州は、依然としてカナダ最大のリンゴ生産州である。2024/25年度にはケベック州での記録的なリンゴの収穫が、カナダ全体に占めるオンタリオ州の市場シェアの一部を侵食したが、それでもオンタリオ州は国内のリンゴ生産量の50%近くを占めている。オンタリオ州の果樹園では統合が進み、改植時には1エーカー当たりの収量を高めるため密植栽培が好まれている。

ガラ及びハニークリスピが現在のオンタリオ州のリンゴ生産の主流であり、生産者は古い果樹園を消費者需要の高い品種に転換しているため、マッキントッシュ及びレッドデリシャスの栽培面積は減少を続けている。さらに、生産コストの上昇が続く中、生産者はより高い利益を求めてプレミアム品種への転換も進めている。

一部の地域の干ばつと高温に伴う課題にもかかわらず、収穫期にはオンタリオ州のリンゴの作柄は堅調で

あるとの楽観的な見方があった。しかし、地域によっては果実のサイズが小さくなつた可能性があり、収穫の開始も早まつたと報告されている。米国産リンゴの出荷量の規模を踏まえると卸売価格への懸念があり、生産者は安価な輸入品との競合に直面する可能性が高い。オンタリオ州は引き続き生食用生産の大半を国内市場に供給することとしており、「地産地消」及び「カナダ産購入」の意識に訴える方針である。

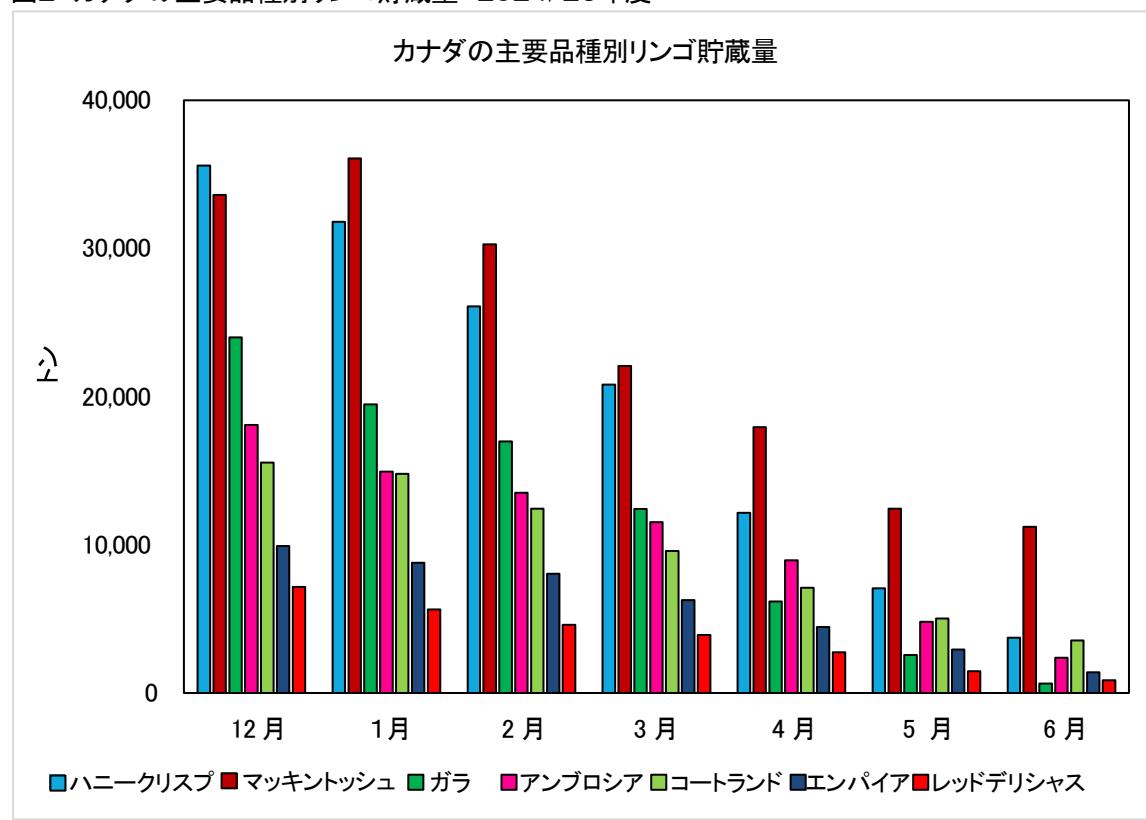
ケベック州の当初予測では、2025/26年度にも再び堅調なリンゴの作柄が見込まれていた。しかし、生育期間後半の乾燥した条件により、最終的な生産量は当初予測を下回る見込みである。2024/25年度のケベック州の生産量は記録的であったが、2025/26年度に新記録を達成する可能性は低く、同州はオンタリオ州に次ぐリンゴ生産量第2位の地位を維持すると見られる。

オンタリオ州と同様に、ケベック州の生産者も園地の近代化の機会を求め、アンブロシア、ハニークリスピ、ガラ等の消費者に好まれる品種の栽培を増やしている。ケベック州はカナダ最大のマッキントッシュ品種の栽培面積を有しているが、この品種は生食用としての消費者の人気を失っており、人気が高く需要のある品種への転換が続くものと見込まれる。

ニューブランズウィック州及びノバスコシア州の2025/26年度のリンゴ生産は、干ばつと高温の影響を大きく受けると見られる。乾燥した条件と高温により果実数の減少とサイズの縮小が要因となり、生産量は減少すると見られる。ノバスコシア州の生産者が栽培面積の拡大に投資してきたハニークリスピ品種は特に影響を受け小玉化したが、収穫されたリンゴの品質は良好であったと報告されている。東部の他の州と同様に収穫は例年より早く終了した。さらに、果樹が受けたストレスにより、干ばつの影響が翌年の生産サイクルに及ぶことへの懸念もある。

BC州では、アンブロシアが特に後半の天候要因の影響を受け、最終収穫量は2024/25年度を下回る見込みである。地域的には、BC州の一部で雹害の影響があり、品質への懸念もある。同州の生産者は引き続きBC州果樹協同組合の閉鎖の影響に直面している。CA貯蔵庫へのアクセスは依然として限られている。さらに、米国ワシントン州のリンゴ生産量が多いことも、BC州の市場と価格を圧迫するものと見られる。

図2 カナダの主要品種別リンゴ貯蔵量 2024/25年度

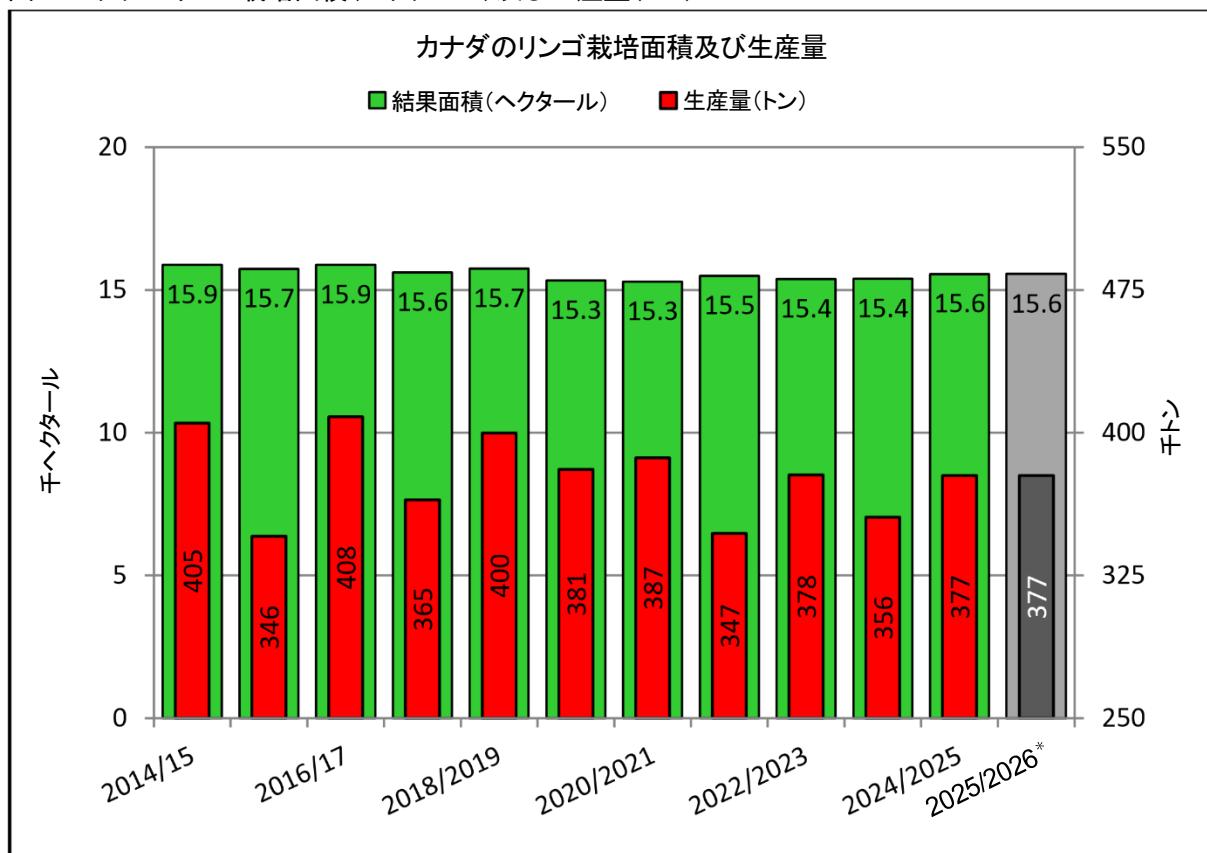


当事務所は、2025/26年度のカナダのリンゴ栽培面積が、BC州での新たな面積の追加によりわずかに増加するものと予測する。BC州の栽培面積は複数年にわたり減少してきたが、州の再植事業が成果を上げ、新たな栽培面積が追加されると報告されている。

同州は近年、度重なる厳しい気象災害を経験しており、州及び果実業界は、これらの極端な天候上の課題に適応するためにはどの品目や品種が最も適しているかを模索し続けている。しかし、BC州の栽培面積は地価の高さと生産コストの上昇によって引き続き制約されると見られる。これらの要因は、米国ワシントン州の生産量の多さ及び生産コストの低さとともに、BC州の生産者にとってますます大きな課題となっている。

労働力の確保は業界にとって依然として課題であり、一方、食料のインフレ率が一般的なインフレ率を上回っていることもあり、カナダの消費者は依然として生活費の上昇に懸念を示している。小売業者及び生産者は消費者のためにコストを低く抑えるよう圧力を受けていますが、生産コストが上昇する中で、生産者は効率を改善する方法を見出さなければ、これらの生産コストの増加により収益の減少に直面する可能性がある。

図3 カナダのリンゴ栽培面積(ヘクタール)及び生産量(トン)



出典: カナダ統計局、*は当事務所の予測

輸出

生産量に占める割合で見たカナダの生鮮リンゴ輸出量は、2021年から2024年にかけて好調な実績を示した。しかし、2024/25年度には国内の収穫量が増加したにもかかわらず、カナダのリンゴ輸出は数量及び生産量に対する比率の両面で減少した。国内需要の改善が要因であり、加工用リンゴの輸出減少も影響した。非加工用途向けのリンゴの輸出は増加した。

カナダではリンゴの加工能力が限られているため、品質上の課題が多い年には輸出可能な加工用リンゴが増加する。2024/25年度は品質が良好であったため、加工用に仕向けられるリンゴは少なかった。2025/26年度には品質上の課題が報告されており、当事務所は加工用途向けの輸出に仕向けられるリンゴの数量が増加するものと予測する。2024/25年度の生産量予測が概ね前年並みであることも考慮し、当事務所は加工用途向け数量の増加により輸出量が2%増加すると予測する。

カナダは長年にわたり輸出の多様化戦略を積極的に追求してきたが、2025年にはカナダと米国の関係が不安定であることを背景に、その取り組みが一層強化された。カナダとメキシコは、カナダ東部産リンゴのメキシコ市場へのアクセス開放に向けた協議を行ったとされている。自由貿易協定を通じて一部の市場における関税撤廃が達成されているため、カナダはベトナム、韓国等、インド太平洋市場を引き続きターゲットとする。

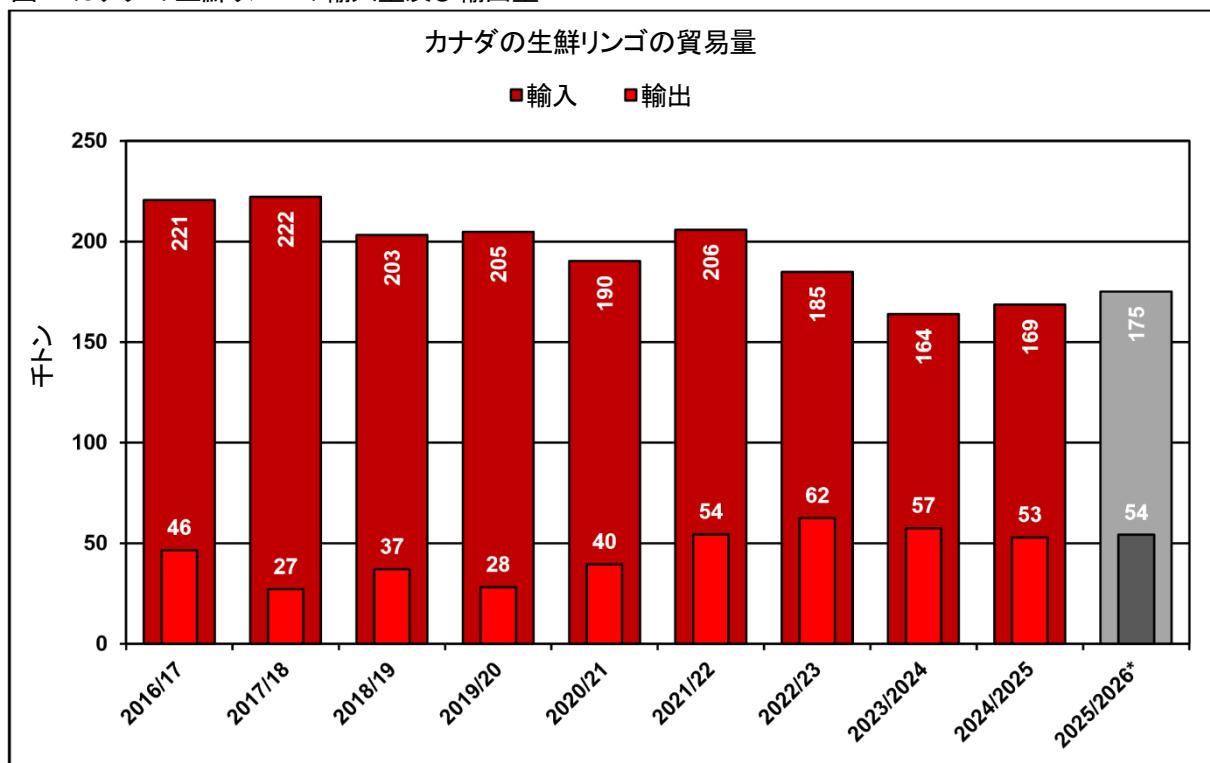
カナダは貿易上の多様な選択肢を模索し続けるものの、その地理的近接性により米国は引き続きカナダの主要輸出市場となる。ただし、米国のリンゴ収穫量が多いことから輸出数量は圧迫される見込みである。

表3 カナダの生鮮リンゴ輸出量

カナダ 生鮮リンゴの輸出量						
販売年度: 7月～6月/数量単位: トン						
	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25
世界	28,177	39,536	54,475	62,405	57,426	52,907
加工用	12,732	19,001	34,404	38,341	37,691	22,129
その他	15,445	20,534	20,071	24,064	19,735	30,778
米国	14,802	20,887	21,548	24,771	22,430	30,714
加工用	4,420	5,118	5,156	4,548	6,464	4,307
その他	10,382	15,770	16,392	20,223	15,967	26,407
ベトナム	9,608	8,645	23,365	31,692	27,058	18,536
インド	0	2,702	4,198	1,170	604	236
キューバ	975	1,564	1,210	646	1,148	841
その他の国	2,792	8,440	8,352	5,296	6,790	2,816

出典: Trade Data Monitor

図7 カナダの生鮮リンゴの輸入量及び輸出量



出典: Trade Data Monitor、*は当事務所の予測